

## 遊技産業活性化委員会

# 「闇スロ撲滅」ポスター全国へ

## 日遊協が「定量制G」を提案

遊技産業活性化委員会が4月24日、全日遊連会議室で開かれた。6団体(全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商)の代表が参加したほか、警察庁保安課もオブザーバーで出席した。

日電協、回胴遊商が共同で制作したパチンコ・パチスロ産業21世紀の「闇スロ撲滅宣言」ポスターを、全国ホール内の適切な場所に掲示することを了承した。これは1月13日の6団体代表者会議で、「過去のパチスロ4号機流出の反省を踏まえ、回胴式遊技機が闇スロに流出することのない仕組みづくりを遊技業界全体で取り組む」ことを確認し、21世紀会が業界全体で地域犯罪防止活動として取り組むことを

決定したことを受けてのもの。ポスターはB2版、A3版があり、4月末にホール、都道府県防犯協会等に発送された。

定量制営業のガイドライン案が日遊協から提出された。活性化委員会としてガイドラインをつくること、そのために遊技機検討ワーキンググループが同案をたたき台に検討していくことを決めた。

日遊協案では、少額・短時間遊技につながる定量制営業を本来の正しい意味で適切に運用することは、依存問題への効果的対策の一つとなり、手軽に遊べる遊技としてファン層の拡大にもつながるとしている。案の内容は、定量制の基本パターンを、①定量制の台で遊技を開始 ②大当たりにより出玉を獲得 ③一定量の出玉に到達したらスタッフの声をかけて遊技終了 ④台は打ち止めとし、遊技客は出玉を交換または出玉を持って台移動 ⑤台を開放——とし、その上で注意事項、禁止すべき事項、トラ

ブル防止のため配慮すべき事項を挙げている。

## 「遊パチ」の新呼称を検討

日工組が開発を進めている、射幸性を抑制した新しいタイプの遊技機の呼称問題について審議し、これまでの呼称「遊パチ」ではなく新しいネーミングとすることを決めた。これを受けて、ただちに遊技産業PRワーキンググループで検討することになった。この問題は4月22日に開かれた遊技機検討、遊技産業PRの2つのワーキンググループの合同会議でいったん審議され、活性化委員会に決定をゆだねていた。

一般社団法人遊技産業健全化推進機構による業界への広報支援として、新聞広告のデザイン案が日遊協と全日遊連から提出された。後日、日遊協と全日遊連との間で調整して決めることを確認した。

## 遊技機検討・PR合同WG

## 160分の1の新タイプ

## 日工組「新・遊パチ」で提案

遊技産業活性化委員会の遊技機検討、遊技産業PRの2つのワーキンググループの合同会議が4月22日、日工組会議室で開かれた。

日工組から

「新・遊パチ(仮称)」として、新しいタイプの遊技機

が提案された。

コンセプトは、①遊技客にやさしい ②来店回数を多く、使用金額を低

く③スリープ層向け④短い時間の遊技——としている。また、想定される仕様として、「確率は下限1

60分の1」「出玉は複数種類ある場合は、最大の2分の1を下限」

「玉単価は1円未満(現状の平均稼働想定)」としており、さらに、初心者にも理解しやすいように、「潜伏確変は非搭載」「長すぎない変動時間」「大当たり(三つ揃いの数字など)がわかりやすい」となっている。

この新機種や日工組がそれ以前に開発を発表している射幸性抑制に向けた多種多様な遊技機をどう広報していくかを協議した。名称について、現在の「遊パチ」を定義し直して継続させるか、新しいネーミングを考えるか決まらず、活性化委員会に上げることを決めた。

